



目標事業量の設定

第5章 目標事業量の設定

I 人口・世帯の推計

目標事業量の設定に当たっては、人口推計やニーズ調査結果等により把握した各事業のニーズ量に基づき設定しました。

後期行動計画は平成26年度までの計画となっておりますが、新待機児童ゼロ作戦との整合性を図るため、新待機児童ゼロ作戦の最終年である平成29年度の目標事業量も設定しています。

1 人口の推計

本市の人口は、平成22年の60,255人から平成26年には58,914人になると推計され、後期計画の5年間ではおよそ1,300人、2.2%の減少が予想されます。

第2次ベビーブームの世代が30代後半にさしかかり、今後大きな出生数の増加が期待できないことから年少人口は減少し、平成22年の7,086人から平成26年には6,344人と推移し、742人が減少すると思われます。

また、総人口に占める年少人口の割合は11.8%から10.8%へ、年少人口指数は、17%台から16%へと減少する見込みです。

逆に高齢化指数は急速に上昇し、平成24年には199.9となり、子どもの数が高齢者の半数になると推測されます。

図表41 年齢階層別の将来人口推計(各年4月1日現在) (単位：人、%)

項目	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成29年
総人口	60,255	59,980	59,631	59,313	58,914	57,744
年少人口 (0～14歳)	7,086 (11.8)	6,873 (11.5)	6,699 (11.2)	6,527 (11.0)	6,344 (10.8)	5,873 (10.2)
生産年齢人口 (15～64歳)	40,658 (67.4)	40,141 (66.9)	39,543 (66.3)	38,968 (65.7)	38,344 (65.1)	36,603 (63.4)
老年人口 (65歳以上)	12,511 (20.8)	12,966 (21.6)	13,389 (22.5)	13,818 (23.3)	14,226 (24.1)	15,268 (26.4)
年少人口指数	17.4	17.1	16.9	16.7	16.5	16.0
高齢化指数	176.6	188.7	199.9	211.7	224.2	260.0

※人口推計は「国勢調査人口」を用い、「コーホート変化率法」で推計をしたものです。

注：()内は対総人口比、年少人口指数＝年少人口／生産年齢人口

高齢化指数＝老年人口／年少人口

2 就学前児童、小学校児童、中学・高校生等の推計

本計画の基本となる児童人口について、年齢ごとにみると次のとおりです。今後、出生数が減少することが予想されるため、児童の数は減少が見込まれます。

図表42 年齢別の将来人口推計 (単位：人)

項目		平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成29年
就学前児童	0歳	466	450	444	437	429	408
	1歳	430	416	410	404	397	377
	2歳	467	453	446	440	432	410
	3歳	442	430	424	417	410	390
	4歳	435	424	418	412	405	385
	5歳	463	450	434	418	402	370
	計	2,703	2,623	2,576	2,528	2,475	2,340
小学校児童	6歳	476	464	448	432	416	383
	7歳	454	439	424	409	393	362
	8歳	480	462	446	430	414	381
	9歳	473	458	442	426	410	377
	10歳	489	476	464	452	438	398
	11歳	515	497	484	471	458	416
	計	2,887	2,796	2,708	2,620	2,529	2,264

※人口推計は「国勢調査人口」を用い、「コーホート変化率法」で推計をしたものです。

図表43 年齢階層別の将来人口推計 (単位：人)

項目	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成29年
3歳未満児(0-2歳)	1,363	1,319	1,300	1,281	1,258	1,195
3歳以上児(3-5歳)	1,340	1,304	1,276	1,247	1,217	1,145
小学校低学年(6-8歳)	1,410	1,365	1,318	1,271	1,223	1,126
小学校高学年(9-11歳)	1,477	1,431	1,390	1,349	1,306	1,191
中学生(12-14歳)	1,496	1,454	1,415	1,379	1,340	1,216
高校生世代(15-17歳)	1,650	1,615	1,572	1,528	1,481	1,360

※人口推計は「国勢調査人口」を用い、「コーホート変化率法」で推計をしたものです。

3 家族類型、潜在家族類型

家族類型は、国から示された策定指針によりニーズ調査結果から求めています。潜在家族類型は、現在就労していない人に将来の就労希望等をたずねて求めた割合で、現在専業主婦の人が将来的にフルタイムやパートタイムで働く見通しとして求めています。

図表44 就学前児童（0～2歳）の家族類型の見通し (単位：人)

項目	現状	潜在家族類型					
	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成29年度
ひとり親家庭	98	92	89	88	87	85	81
フルタイム×フルタイム	364	507	491	484	477	468	445
フルタイム×パートタイム	228	236	228	225	222	218	207
専業主婦(主夫)	750	523	506	498	491	482	458
パートタイム×パートタイム	0	5	5	5	5	5	4
無業×無業	5	0	0	0	0	0	0
合計	1,445	1,363	1,319	1,300	1,282	1,258	1,195

※家族類型は、ニーズ調査結果と人口推計から求められた計算値です。

図表45 就学前児童（3～5歳）の家族類型の見通し (単位：人)

項目	現状	潜在家族類型					
	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成29年度
ひとり親家庭	146	140	136	133	130	127	119
フルタイム×フルタイム	309	480	467	457	447	436	410
フルタイム×パートタイム	343	307	299	292	286	279	262
専業主婦(主夫)	594	413	402	393	384	375	353
パートタイム×パートタイム	6	0	0	0	0	0	0
無業×無業	0	0	0	0	0	0	0
合計	1,398	1,340	1,304	1,275	1,247	1,217	1,144

図表46 小学生就学児童（1～3年生）の家族類型の見通し (単位：人)

項 目	現状	潜在家族類型					
	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成29年度
ひとり親家庭	183	176	171	165	159	153	141
フルタイム× フルタイム	327	548	530	512	494	475	437
フルタイム× パートタイム	405	321	311	300	289	278	256
専業主婦(主夫)	543	365	353	341	329	317	292
パートタイム× パートタイム	7	0	0	0	0	0	0
無業×無業	0	0	0	0	0	0	0
合 計	1,465	1,410	1,365	1,318	1,271	1,223	1,126

※ 本市の児童人口は、後期計画期間（平成22年度から平成26年度）中において減少していくことが予想されています。しかし、女性の就労形態の変化から専業主婦の割合が減り、就労する女性の割合が増えることが予測されることを念頭に保育サービスの目標事業量を設定します。

II 特定 12 事業の目標設定

1 通常保育事業

【事業内容】

保護者が日中就労や疾病等により、就学前児童を保育することができないと認められる場合に、保護者に代わり保育園での保育を実施します。

平成 21 年 4 月 1 日現在、認可保育園の定員数は 1,175 人であり、定員の弾力的な運用により在籍児童数は、1,234 人となっています。

【現状と目標事業量】

現状（平成 21 年度）		目標事業量（平成 26 年度）		目標事業量（平成 29 年度）	
児童数	箇所数	児童数	箇所数	児童数	箇所数
1,234 人	12 か所	1,260 人	12 か所	1,260 人	12 か所

【今後の取組】

人口推計によると、子どもの人口は減少傾向にありますが、女性の社会進出や就労形態の多様化により保育ニーズは増加すると予想されます。この状況を踏まえ、現行の認可保育園による定員の弾力的な運用、認証保育所の整備促進、認可外保育所利用者補助事業、認定こども園の整備促進に努めていきます。

平成 23 年 4 月には、つくし保育園の建替えに伴い認可保育園の定員数は 1,200 人となる予定です。

なお、本市に 3 か所ある認証保育所の合計定員は 80 人で、これに認可保育園の受入可能児童数 1,260 人を合わせると 1,340 人となります。

2 特定保育事業

【事業内容】

保護者がパート等の就労により保育が困難な3歳未満児に対して、週2、3日程度又は午前か午後のみ等の柔軟な保育を行います。

現状（平成21年度）	目標事業量（平成26年度）	目標事業量（平成29年度）
箇所数	箇所数	箇所数
未実施	0か所	0か所

【今後の取組】

現在、特定保育のための施設整備はできていません。後期計画においては、一時預かり、ほっとサービス等の事業の充実を図るとともに、私立幼稚園で実施しているプレ幼稚園事業（2歳児対象）や新たに私立幼稚園で一時預かり事業を実施し対応していきます。

3 延長保育事業

【事業内容】

保育園において、通常の開所時間を延長して保育を行います。

【現状と目標事業量】

現状（平成21年度）		目標事業量（平成26年度）			
1時間延長		1時間延長		2時間延長	
児童数	箇所数	児童数	箇所数	児童数	箇所数
120人	12か所	320人	12か所	191人	12か所

目標事業量（平成29年度）			
1時間延長		2時間延長	
児童数	箇所数	児童数	箇所数
320人	12か所	191人	12か所

【今後の取組】

就労形態の多様化から延長保育に対するニーズは高まると予想されますので、利用者の意向調査等を行い、2時間延長の実施時期を検討していきます。

4 夜間保育事業

【事業内容】

保護者が就労等により帰宅が夜間になる場合に、保育園で子どもの保育を実施するもので、概ね午前 11 時から午後 10 時の保育時間とされています。

【現状と目標事業量】

現状（平成 21 年度）		目標事業量（平成 26 年度）		目標事業量（平成 29 年度）	
児童数	箇所数	児童数	箇所数	児童数	箇所数
0 人	未実施	0 人	0 か所	0 人	0 か所

【今後の取組】

ニーズ量が少ないため施設での実施ではなく、ショートステイやほっとサービスで対応していきます。

5 トワイライトステイ事業

【事業内容】

保護者が夜間まで帰宅できない場合など、子どもの保育が困難な場合、施設等で平日の夜間（22 時まで）や休日に一時的に児童を預かります。

【現状と目標事業量】

現状（平成 21 年度）		目標事業量（平成 26 年度）		目標事業量（平成 29 年度）	
児童数	箇所数	児童数	箇所数	児童数	箇所数
0 人	未実施	0 人	0 か所	0 人	0 か所

【今後の取組】

この事業は養護施設等を利用した預かり保育事業であるため、ショートステイやほっとサービスで対応していきます。

6 休日保育事業

【事業内容】

保護者が休日就労等により児童を家庭で保育できない場合、保育園で保育を実施します。

【現状と目標事業量等】

現状（平成 21 年度）		目標事業量（平成 26 年度）		目標事業量（平成 29 年度）	
児童数（定員）	箇所数	児童数	箇所数	児童数	箇所数
15 人	1 か所	30 人	2 か所	30 人	2 か所

【今後の取組】

現在、福生保育園で実施していますが、ニーズ調査結果の自由意見欄にすべての園で実施してほしいとの意見があるため、他の実施する園等について検討していきます。

7 病児・病後児保育事業

【事業内容】

病児保育は、子どもが病気であるために保育園などに預けられない時に、病院等で保育をする事業です。病後児保育は、市内の保育園などに通所する病気回復期の児童を一時的に預かり、保護者の子育て及び就労の両立を支援する事業です。

【現状と目標事業量】

現状（平成 21 年度）		目標事業量（平成 26 年度）		目標事業量（平成 29 年度）	
日数（年間）	箇所数	日数（年間）	箇所数	日数（年間）	箇所数
840 日	1 か所	1,680 日	2 か所	1,680 日	2 か所

【今後の取組】

病後児保育は、平成 20 年 11 月から福生保育園内に開設した病後児保育室で実施しています。現時点での利用状況は低いですが、ニーズ量が多いと推測されますので、利用時間や利用方法等を検討していきます。

また、病児保育と共に、医療機関内への設置の可能性を検討します。

8 放課後児童健全育成事業（学童クラブ）

【事業内容】

保護者の就労等で放課後、家庭で適切な保育を受けられない小学校1年生から4年生までの児童を対象に、遊びや生活の場を提供して健全育成を図る事業です。障害児は、小学校6年生まで継続的な入所が可能です。

【現状と目標事業量】

現状（平成21年度）		目標事業量（平成26年度）		目標事業量（平成29年度）	
児童数	箇所数	児童数	箇所数	児童数(定員)	箇所数
563人	10か所	570人	12か所	570人	12か所

※国から示された学童クラブのガイドラインより、定員71人を超える学童クラブを解消する必要があるため、平成22年度から武蔵野台クラブ及びさくらクラブを分割し、第2武蔵野台クラブ、第2さくらクラブを新設します。

【今後の取組】

市内にあるすべての小学校で実施している「ふっさっ子の広場」と連携しながら、今後も待機児童ゼロに努めていきます。

9 地域子育て支援拠点事業

【事業内容】

主に3歳未満の乳幼児を持つ親に保護者同士の交流の場を提供し、子育てに対する不安の軽減や仲間づくりの支援を行います。

【現状と目標事業量】

ひろば型（児童館、福生杉ノ子保育園で実施）

現状（平成 21 年度）	目標事業量（平成 26 年度）	目標事業量（平成 29 年度）
箇所数	箇所数	箇所数
4 箇所	4 箇所	4 所

※ ひろば型：公共施設内のスペース、商店街の空き店舗、公民館、児童館、学校の余裕教室、子育て支援のための拠点施設、民家、マンション・アパートの一室など、子育て親子が集う場として適した場所で実施することとされています。常設のつどいの場を設け、地域の子育て支援機能の充実を図る取組を実施します。

センター型

現状（平成 21 年度）	目標事業量（平成 26 年度）	目標事業量（平成 29 年度）
箇所数	箇所数	箇所数
未実施	1 箇所	1 箇所

※ センター型：保育園等の児童福祉施設、小児科医院等の医療施設の他、効果的・継続的な事業実施が可能な場所で実施することとされています。地域の子育て支援情報の収集・提供に努め、子育て全般に関する専門的な支援を行なう拠点として機能すると共に、地域支援活動を実施します。

【今後の取組】

子ども応援館でも常設の「ふれあいひろば」が開催されています。また、定期的に市内 8 か所でボランティアによる子育てサロンも実施されています。事業の充実に努めるとともに、運営主体の選定を含め、誰もが参加しやすい新たな地域子育て支援事業の実施を検討します。

10 一時預かり事業

【事業内容】

家庭において就学前児童を保育している保護者が、心身のリフレッシュや病気等で、一時的に家庭で保育することができない場合に保育園等で児童の保育を行います。

【現状と目標事業量】

現状（平成 21 年度）		目標事業量（平成 26 年度）		目標事業量（平成 29 年度）	
日数（年間）	箇所数	日数（年間）	箇所数	日数（年間）	箇所数
3,060 日	12 か所	8,160 日	16 か所	8,160 日	16 か所

【今後の取組】

今後も一時預かりに対するニーズは高いと予測されますが、現在、保育園での入所可能な範囲内で受入れているため恒常的な対応ができない状況にあります。

このため、保育園だけではなく、市内の私立幼稚園設置者と協議しながら幼稚園での一時預かり事業を実施します。また、施設で受け入れられないものについては、ほっとサービスとの連携を図りながら対応していきます。

11 ショートステイ事業

【事業内容】

保護者が疾病等により、児童を家庭で養育できない場合、施設等で短期間（7 日以内）児童を預かります。

【現状と目標事業量】

現状（平成 21 年度）		目標事業量（平成 26 年度）		目標事業量（平成 29 年度）	
日数（年間）	箇所数	日数（年間）	箇所数	日数（年間）	箇所数
730 日	1 か所	730 日	1 か所	730 日	1 か所

【今後の取組】

利用は少ない状況となっておりますが、引き続き利用拡大に向け努めていきます。

12 ファミリー・サポート・センター事業

【事業内容】

子育ての手助けが必要な人と子育てを手伝ってあげられる人が会員になり、お互いに地域の中で助け合いながら子育てを行います。

【現状と目標事業量】

現状（平成 21 年度）	目標事業量（平成 26 年度）	目標事業量（平成 29 年度）
箇所数	箇所数	箇所数
0 か所	1 か所	1 か所

【今後の取組】

本市では、ファミリー・サポート・センター事業は実施していませんが、類似の事業として福生市社会福祉協議会が自主事業で実施している「ほっとサービス」があります。多様化する様々な保育ニーズに対応できるよう、支援方法について社会福祉協議会と協議する中で、必要に応じて市独自のファミリー・サポート・センターを立ち上げます。